

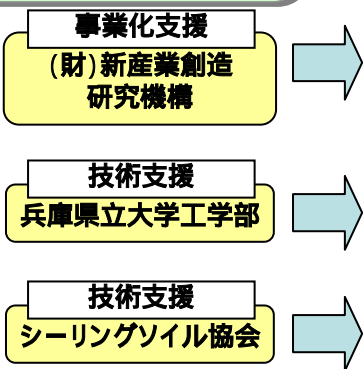
地域	兵庫県姫路市	認定日	平成20年2月27日	5 - 19 - 077
事業分類	建設	テーマ分類	環境	

事業名: 高圧洗浄装置による汚染土壌処理事業及び同装置の製造・販売

事業概要(新規性、市場性等)

- ・コンクリート廃材の高圧水噴射洗浄装置の技術を応用した新開発の汚染土壌洗浄処理装置を開発し、同装置を用いた土壌洗浄処理サービスおよび同装置類の製造・販売事業である。
- ・コア企業が開発した砂洗浄分級装置(SPS: サンドピュアースシステム)は、対象土砂に高圧の空気混合噴流を衝突させる方式であり、従来方式に比べ、高い土壌洗浄能力を有する。
- ・洗浄の高能力に加え、コンパクトな装置を実現し、従来方式に比べ低コストであるため、小規模保有施主にとってもコスト的に負担が少ない魅力的な土壌洗浄を提供することが出来る。
- ・掘削した土壌を高圧水噴射洗浄装置で洗浄することに加え、天然ゼオライト等を投入し汚染物質を吸着固定させるシーリングソイル工法を組み合わせることで、汚染物質の確実な処理を行っている。

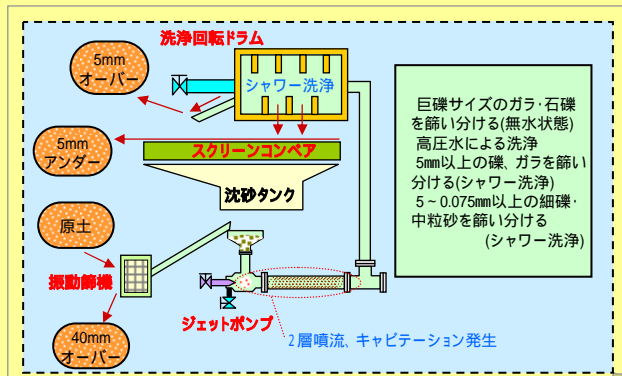
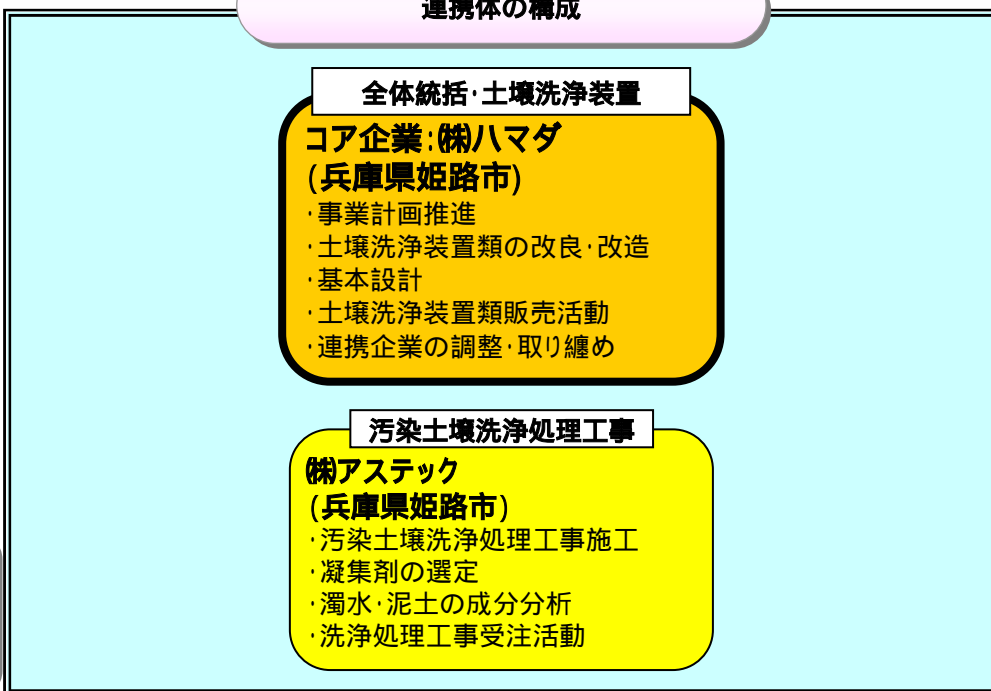
事業推進体制



支援予定メニュー

- 補助金
- 設備投資減税
- 特許料減免

連携体の構成



SPSによる洗浄・分級



試作機

連携のきっかけ、特徴

- ・コア企業である(株)ハマダは、数年前から独自の洗浄分級装置 (SPS: サンドピュアシステム)を開発し、コンクリート廃材の再生事業を推進してきたが、コンクリート廃材の骨材再生事業は、建築材料としての認定などの課題も多く、高強度の骨材としての事業化は時期尚早と考えた。
- ・SPSは、土壌洗浄処理工事に応用しても十分に効果が得られることがわかり、特に洗浄工程をコスト的に低く抑えることが出来るため、小規模洗浄工事への展開を行うことを計画した。
- ・しかし、コア企業にとって汚染土壌処理工事施工は未経験の分野であり、事業化には多くの困難が予想された。
- ・一方、連携企業である(株)アステックは、汚染土壌洗浄処理工事施工を長年行ってきており、同事業にとって重要な高い排水処理技術を有していた。しかし従来方式の土壌洗浄装置しか保有しておらず、採算が取れない小規模工事には対応することが困難だった。
- ・そこで、独自に土壌洗浄処理装置 (SPS装置)を開発したコア企業と、汚染土壌洗浄処理工事施工の経験と排水処理技術を有する企業が連携し、小規模な汚染土壌処理事業でも対応できる事業を展開することとなった。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社ハマダ 代表取締役 帽田八郎	
所在地	兵庫県姫路市網干区新在家1261-12	
創業	明治39年12月	
資本金・従業員数	5,502万円	305名
業種	プラント製造業、一般建設業、土木・建築一式工事	
T E L	079-271-3006	
F A X	079-271-3016	
ホームページ	http://www.hamada-inc.co.jp	
e-mail	a-boda@hamada-inc.co.jp	

PR等その他の情報

- ・汚染土壌浄化市場をターゲットとしています。
- ・認定に至るまでには、事業化の確度・事業戦略等いかに実現できる計画をたてることが最大のポイントでしたが、平川SMの献身的な支援により、それを乗り切ることができました。
- ・建設業界との商談が進み、間もなく売り上げ計上される見込み。
- ・平成20年10月に神戸で開催される国際フロンティア産業メッセ会場に出展予定。